

2020 年度実施方針

国 際 部
I o T 推 進 部
材 料 ・ ナ ノ テ ク ノ ロ ジ ー 部
省 エ ネ ル ギ ー 部

1. 件名：国際研究開発／コファンド事業

2. 根拠法

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法第十五条第一号、第二号、第三号及び第九号

3. 事業の背景及び目的

「科学技術イノベーション総合戦略 2017」（2017 年 6 月 2 日閣議決定）、「未来投資戦略 2017」（2017 年 6 月 9 日閣議決定）などの成長戦略に基づき、新興国を中心として急速に拡大するグローバル・マーケット獲得に向け、我が国の優れた技術の国際展開を推進することが急務である。

また、NEDOの第4期中長期目標において、我が国企業と優れた技術を有する外国企業の国際的な連携を促進し、海外市場展開を推進するため、国内外の企業による共同研究に対し、NEDOが外国の技術開発マネジメント機関とともに資金支援を行うコファンド事業を積極的に推進するという目標を掲げている。

上記目標の達成、我が国の高い技術力の海外市場への展開の推進、経済成長促進及び産業競争力強化の早期実現を図るため、欧米先進国を中心とする海外の技術開発支援機関等とともに、コファンド形式等により、国際共同研究開発を支援する。

4. 実施内容及び進捗状況

4. 1 2019 年度（助成）事業内容

2019 年度は、MOU等を締結済みのイスラエル・イノベーション庁（I I A）、フランス公共投資銀行（B p i f r a n c e）、ドイツ連邦経済エネルギー省（B M W i）/ドイツ産業研究協会連合（A i F）（プログラム名称：ZIM及びCORNET）、スペイン政府産業技術開発センター（C D T I）、チェコ技術庁（T A C R）との間で、国際共同研究開発事業・公募を実施した。

実施した個別の研究開発テーマについては、別紙1を参照のこと。

4. 2 実績推移

	2015 年度	2016 年度	2017 年度		2018 年度		2019 年度
	委託	委託	委託*	助成	委託*	助成	助成
実績額推移							
① 一般勘定 (百万円)	131	330	316	39	4	149	208
② 需給勘定 (百万円)	126	93	70	0	0	0	0
特許出願件数 (件)	1	8	0	0	0	2	9
論文発表数 (報)	2	2	1	0	0	0	0
フォーラム発表数 (件)	0	4	2	0	0	1	4
新聞・雑誌等への掲載 (件)	2	12	7	0	0	0	2
展示会への出展 (件)	5	7	9	0	0	1	11

※ 2016 年度採択継続案件及び調査事業のみ

	2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度	
	応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択	応募	採択
応募及び採択 件数の推移	12	5	7	2	16	4	10	4 (内 1 件 辞退)	14	8 (内 1 件 辞退)

5. 2020 年度 (助成) 事業内容

前年度から継続実施中の個別の研究開発テーマについては、別紙 1 を参照のこと。

5. 1 事業概要

(1) 対象分野

NEDOが所掌する新エネルギー、省エネルギー、スマートコミュニティ、環境、ロボット・AI、IoT、材料・ナノテクノロジー等の分野

(2) 研究開発の内容

上記対象分野において我が国企業と相手国企業が行う国際共同研究開発を支援する。本事業については、公募により研究開発テーマを募集し、予算の範囲内でテーマを選定する。

5. 2 事業規模

一般会計 (一般勘定) 約 347 百万円 (継続)

(注) 事業規模については、変動があり得る。

6. 2020 年度予算の事業の実施方式

6. 1 実施体制

本事業は、NEDOと相手国機関等との間で調整・協議の上実施することとし、その下で、双方の企業等をそれぞれ支援することとする。なお、2020 年度の公募は、欧州を中心とする各

国の研究開発・イノベーション支援機関の国際的なネットワークである EUREKA（※1）の GlobalStars（※2）スキームを活用した多国間共同公募方式を導入する予定。対象国は、既に二国間のMOU等を締結済みの既存国（イスラエル、フランス、ドイツ、スペイン、チェコ）に加え、当年度の EUREKA GlobalStars 公募のリード国として想定されるイギリス等、必要性や状況に応じて追加する。相手国ファンディング機関及び実施スキームについては、別紙2を参照のこと。なお、各国との調整の結果、EUREKA GlobalStars 公募の適用が困難な既存国が生じた場合には、別途二か国間の枠組み等での公募実施を検討する。

NEDOは、原則として日本に研究開発拠点を有する企業等（単独、複数を問わない）から公募により実施者を選定する。

企業に主体性を求めることによりイノベーションの更なる推進を加速するべく、助成により実施（NEDO負担率：中小・ベンチャー企業2/3、その他1/2）する。

日本側の実施者（企業等）は相手国の実施者（相手国企業等）と共同研究契約を結ぶものとし、相手国機関等は相手国側の実施者に対し支援等を行う。

（※1）EUREKA とは、1985年に発足した欧州を中心とする各国の研究開発・イノベーション支援機関の国際的なネットワーク。約45の国及び欧州委員会が加盟している。過去に6,800件以上のプロジェクトに約384億ユーロが投入され、17,000社以上が支援を受けている。

（※2）EUREKA GlobalStars とは、EUREKA 加盟国以外の国が、複数の EUREKA 加盟国との共同公募を実施することができる EUREKA の公募スキームの一つ。欧州域外とのグローバルネットワーク拡大を狙うもの。公募は EUREKA 加盟国2か国以上と実施する必要があるが、事業提案及び実施は2か国間でも構わない。

6. 2 公募

（1）掲載する媒体

「NEDOホームページ」及び「e-Radポータルサイト」で行う。

（2）公募開始前の事前周知

公募開始の1ヶ月前にNEDOホームページで行う。

（3）公募時期・公募回数

相手国機関等と公募時期・公募回数を調整した上で実施するものとする。

（4）公募期間

原則30日間以上とする。

（5）公募説明会

原則川崎にて開催する。

（6）その他

必要に応じ、個別相談への対応等を適宜実施する。

6. 3 採択方法

(1) 審査方法

実施者の審査・選定は、公募要領に合致する応募を対象に、NEDOが設置する採択審査委員会（外部有識者で構成。非公開。）が提案書の内容に基づいて審査を行い本プロジェクトの目的達成に有効と認められる企業等を選定した後、NEDOがその結果を踏まえて契約・助成審査委員会を開催して審査を行い、日本側の採択者を決定する。その後、相手国機関等と合同審査委員会を開催し、両国の実施者を最終決定する。

なお、応募者に対して、必要に応じてヒアリング等を実施する。採択審査委員会は非公開のため、審査経過に関する問い合わせには応じない。また、e-Radシステムへの応募基本情報の登録は必須とする。

(2) 公募締切から審査結果の通知までの期間

各国との調整により、別途公募要領等にて設定する。

(3) 審査結果の通知

審査結果については、NEDOから応募者に書面により通知する。なお不採択の場合は、その明確な理由を添えて通知する。

なお、相手国側応募者に対しては相手国機関等から通知される。

(4) 採択結果の公表

採択案件については、応募者の名称、事業の概要をNEDOホームページで公表する。

6. 4 研究開発テーマ評価に関する事項

個別の研究開発テーマの事業終了後には、テーマ別事後評価を実施する。

7. その他重要事項

7. 1 運営・管理

NEDOは、関係機関等と密接な関係を維持しつつ、事業の目的及び目標に向けて適切な運営管理を実施する。また、助成先に適宜進捗状況の報告を求める。

7. 2 知的財産権の帰属

本事業の成果に関わる知的財産権については、すべて実施者に帰属する。実施者は、原則として共同研究契約等において本事業に係る知的財産権の取扱いについて予め定めることとする。

7. 3 安全保障貿易管理について

本事業では、安全保障貿易管理の観点から、輸出貿易管理令第4条第1項第三号イに規定する核兵器等の開発等の動向に関して経済産業省が作成した「外国ユーザーリスト」に掲載されている企業・組織等（以下「企業等」という。）又は国連の安全保障理事会の決議により武器及びその関連品等の輸出が禁止されている国（国連武器禁輸国・地域）（輸出貿易管理令別表第3の2）及び懸念3か国（輸出貿易管理令別表第4）に属する企業等が提案書の国際共同研究先に含まれている場合は対象外とする。

8. スケジュール

8. 1 本年度のスケジュール

(1) EUREKA GlobalStarsを活用した多国間共同公募方式

(対象国はイスラエル、フランス、ドイツ、スペイン、チェコ、イギリス等を想定。)

2020年6月 公募開始、公募説明会の開催

2020年9月 提案書締切

2020年12月 合同審査委員会、採択決定

※ 上記スケジュールは、相手国機関等との調整により、変更があり得る。

(2) 二か国間の枠組み等での公募方式

各国との調整の結果、EUREKA GlobalStars公募の適用が困難な既存国が生じた場合に別途検討する。

9. 実施方針の改訂履歴

(1) 2020年1月 制定

(2) 2020年5月 クレジットを一部変更

(3) 2020年12月 8. 2 「来年度以降に開始する事業の公募について」の記載を削除

「国際研究開発／コファンド事業」研究開発テーマ一覧（2019年度～2020年度）

開始年度	終了年度	テーマ名	助成先
2017	2019	日本－フランス研究開発協力事業／半導体検査装置用 266nm 高出力ピコ秒パルスファイバレーザ光源システムの実用化開発	オキサイド株式会社
2017	2019	日本－ドイツ研究開発協力事業／非周期分極反転波長変換デバイスによるライフサイエンス用実時間デュアル光コムスペクトロスコーピーシステムの実用開発	オキサイド株式会社
2018	2019	日本－ドイツ研究開発協力事業／形状記憶ポリマー3D プリントステントを有するステントグラフトの開発	キョーラク株式会社
2018	2019	日本－ドイツ研究開発協力事業／低熱膨張高強度セラミックコンポジットの開発	スーパーレジン工業株式会社
2018	2019	日本－ドイツ研究開発協力事業／IntelliPipe：CFRTP 高圧パイプ用 高機能 TPUD テープシステムと ATL システムにおける AI 品質評価／データ解析システムの研究開発	丸八株式会社
2018	2019	日本－イスラエル研究開発協力事業／公共・自営安心安全 LTE モバイルエッジコンピューティング、サイバーセキュリティシステムの研究開発	日本無線株式会社
2019	2020	日本－ドイツ研究開発協力事業／高度なトポロジー最適化を用いたテーラード・ファイバー・プレースメント (TFP) 工法による設計、製造プロセスの実用化に向けた研究開発	株式会社 TISM
2019	2020	日本－イスラエル研究開発協力事業／AI エッジコンピューティング統合無線 IoT プラットフォームの研究開発	PicoCELA 株式会社
2019	2020	日本－イスラエル研究開発協力事業／脳と AI を活用した人事アセスメントソリューションの研究開発	株式会社パソナ JOB HUB
2019	2020	日本－チェコ研究開発協力事業／波長 1485 nm 帯固体レーザー増幅器を使った半導体露光用深紫外シードレーザの研究開発	ギガフォトン株式会社
2019	2020	日本－チェコ研究開発協力事業／ミニマル原子層成膜装置の研究開発	株式会社堀場エステック
2019	2020	日本－ドイツ研究開発協力事業 (CORNET) /ピストンリング周りの燃料とオイル挙動の明確化研究	自動車用内燃機関技術研究組合 学校法人東海大学 学校法人五島育英会 京都市大学
2020	2020	日本－ドイツ研究開発協力事業 (CORNET) /炭素繊維のリサイクルとそれに続く 3DCFRP 部品製造へのアップサイクリングの研究開発	一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター 国立大学法人信州大学 株式会社ナフィアス NT&I 株式会社

「国際研究開発／コファンド事業」実施スキーム (2020年度)

本事業は、日本企業が、優れた技術を持つ外国企業と共同で実施する国際研究開発プロジェクトに対し、NEDOと相手国のファンディング機関が並行して、それぞれ自国企業の研究開発費用の一部を助成する(いわゆる「コファンド形式」)。これにより、日本企業の国際的なオープンイノベーションを加速し、技術革新による国内外の新規市場獲得を目指す。

